

広報

まちづくり情報誌

小田原

city of odawara public relations

7 2006
JULY
/1日号

緑	真	街	
の	ん	の	
小	中		
道			

お堀端通りの幸田門跡と郵便局の間にある抜け道。
三の丸土塁と呼ばれるこの小道には石垣なども見
れ、江戸時代の面影を今に伝えています。

日本を代表する 城下町が集結

日本のそして世界の城下町が、「城下町」であることを地域の特性と考えて、まちの活性化に取り組んでいます。

輝き続ける光にさらに磨きをかける城下町、埋没し精彩を失いつつある資産の再生に取り組む城下町、新しい価値の創造と進むべき方向を模索する城下町など、さまざまな状況にある城下町都市が、課題を整理し、これからのまちのあり方を考える場が城下町サミットです。

歴史と文化の香る日本各地の城下町が小田原に集結します。

城下町小田原の 未来像を描く

城下町を再認識することは、そこに暮らす人たちの郷土を愛する心をはぐくみ、城下町で暮らしていきたいと思う気持ちを培います。

小田原は、震災などの影響で昔ながらのまちなみが少なくなりましたが、城下町としての歴史は市民生活に深く刻まれ、しっかりと継承されてきました。

都市基盤の整備についても、城下町としての骨格を基礎にして、景観をはじめとする今に息づく

おだわらルネッサンス
推進本部事業

小田原発、 「城下町」の輪を 世界へ!!

世界城下町サミット・プレサミット 「城下町都市会議」開催

平成19年秋に行われる世界城下町サミット。
そのプレサミットとして7月28日(金)・29日(土)・30日(日)
の3日間、日本各地の城下町10都市が参加して
「城下町都市会議」を開きます。

問 世界城下町サミット実行委員会事務局
(企画政策課内)

☎33-1335 FAX 33-1286



文化に配慮したまちづくりを進めています。誇りに思い愛着を抱く城下町小田原の未来像を探ります。

城下町都市の連携

まちを活性化するためのキーワードの一つが交流です。

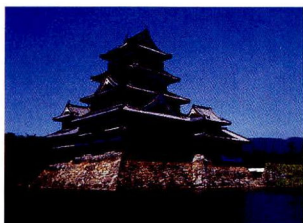
特性を生かしたまちづくりを進め、互いにそれを認め合い連携を深めることが、さまざまな分野での交流を活発にします。

交通の発達や情報技術の進歩により地域の情報が瞬時に世界をめぐるこの時代に、国際的な視野に立つことは不可欠です。

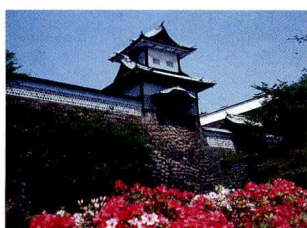
世界の知恵、市民の想いで明日の小田原をデザインするために、小田原が先達となって世界城下町サミット・プレサミット「城下町都市会議」を開きます。



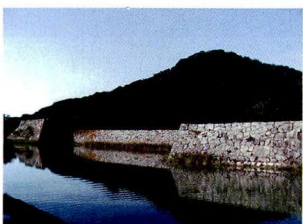
城下町都市会議を支える
サポーティングスタッフのみなさん



松本市 (長野県)



金沢市 (石川県)



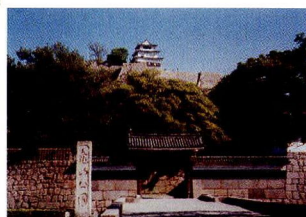
萩市 (山口県)



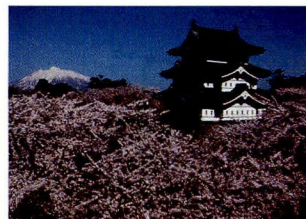
唐津市 (佐賀県)



姫路市 (兵庫県)



丸亀市 (香川県)



弘前市 (青森県)



米沢市 (山形県)



岸和田市 (大阪府)



小田原市

参加予定都市

日程

7月28日(金)

- 《ヒルトン小田原リゾート&スパ》市長会議 15時～16時30分

7月29日(土)

- 《小田原城、総構など》小田原城視察 10時～11時15分

《中央公民館》

- 都市会議 13時～17時15分
来場者募集中。抽選で参加都市の名産品をプレゼント！
詳しくは、広報おだわらいふ6月15日号をご覧ください。

①開会

②基調講演

講師 陣内秀信さん

テーマ(案)「歴史的資産の活用とまちの活性化」

③パネルディスカッション

④共同宣言

7月30日(日)

- 《石垣山、尊徳記念館など》城跡等視察 10時～12時

7月29日(土)・30日(日)

《城址公園》

- 市民交流事業
(同時開催：小田原ちようちん夏まつり)

- ①特産品展示販売
- ②参加城下町創作ちようちん展示
- ③参加城下町紹介パネル展示
- ④演奏交流等舞台発表

(仮称)

城下町ホール

基本設計まとまる！

市では、小田原の新しい「芸術文化交流の中心施設」として、
(仮称)城下町ホールの整備を進めています。
このたび基本設計がまとまりました。
具体的な姿を見せはじめた新しいホールを紹介します。

問 文化交流課 ☎33-1705



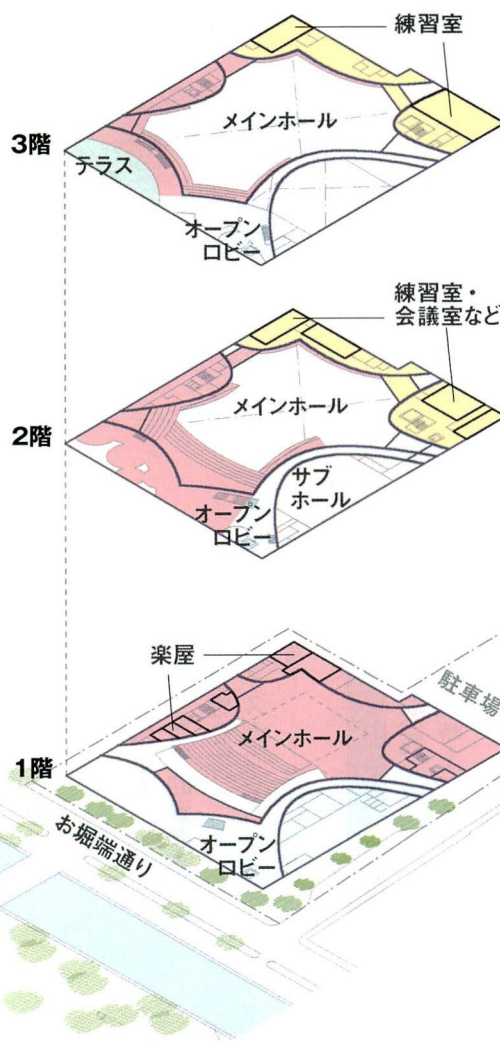
▲緑に溶け込み歴史あるまちなみと調和した外観デザイン(お堀端通り沿い)

●施設構成

「メインホールゾーン」を中心に「サブホールゾーン」、練習室などの「創造ゾーン」、オープンロビーなどの「交流ゾーン」の4つのゾーンで構成します。

●施設概要

所在地:小田原市本町一丁目(小田原警察署跡地など)
敷地面積:約5,900㎡ 延床面積:約9,000㎡
構造:鉄骨造 RC造
高さ:約31m(フライトタワー部分)
約20m(お堀端通り沿い)



メインホールゾーン

2階と3階にホワイエを配置し、観客はそこから客席にアクセスします。楽屋は使いやすくなるため舞台と同じフロアに配置します。

- メインホール
- ホワイエ
- 楽屋 大2・小4

サブホールゾーン

2階オープンロビーに面して配置し、ホワイエとの一体的利用ができます。

- サブホール
- ホワイエ

創造ゾーン

市民の皆さんが気持ち良く創作活動が行えるスペースです。

- 練習室 大1・中2
- アトリエ 1(間仕切り利用可)
- 会議室 2
- ラウンジ

交流ゾーン

お堀端通りににぎわいをもたらすオープンロビーが入口になります。

- オープンロビー
- レストランカフェ
- 事務所・ギャラリー など

※「ホワイエ」とは、観客が待ち合わせや休憩を行うホール前のたまり場のことです。

設計コンセプト 「都市の自由広場のようなホール」

広場のようなさまざまな使い方ができるメインホール、お堀端沿いの開放的なオープンロビーなど、いつもにぎわいが感じられ、そして市民の皆さんのさまざまな活動を生みだし、支えるホールを目指しています。

それでは、一足早く「(仮称)城下町ホール」をご案内しましょう。

お堀端通りを歩くと、並木の向こうにホールが見えてきました。

■外観

小田原城周辺のまちなみと調和するよう、建物の高さをできるだけ低くした、水平ラインを基調とした落ち着いたデザインです。建物のまわりの樹木が、うるおいを与えています。

市民説明会を開きます！

(仮称)城下町ホールは、芸術鑑賞と創作活動が両立できる、使いやすいホールを目指しています。

今回、設計者である山本理顕さんが、基本設計の概要をわかりやすくご説明します。

ぜひ、ご参加ください。



山本理顕さん

【第1回】

日時 7月13日(木)19:00～20:30

場所 市民会館

【第2回】

日時 7月17日(祝)14:00～15:30

場所 マロニエ

※事前申込不要。各回とも内容は同じです。

※文化交流課、支所・連絡所、マロニエ・いずみ住民窓口で、基本設計の概要をお配りします。

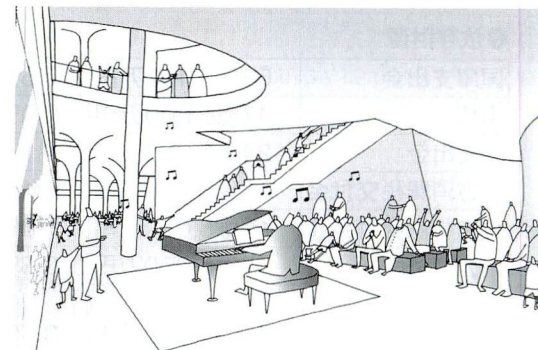
また、ホームページにも概要を掲載します。ご意見をお寄せください。

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/lifelong/hall/>

■オープンロビー

お堀端通りから中に入るとオープンロビーが広がっています。

今日のコンサートを楽しみにしている観客や、レストランカフェにも人々があふれ、とてもにぎやかな空間です。ここでは、ミニコンサートも開かれます。観光客も3階まで足をのばし、テラスからお城を眺めています。

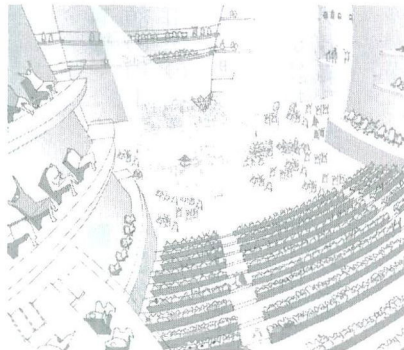


【オープンロビー】イメージ図

■メインホール

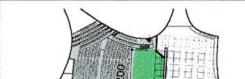
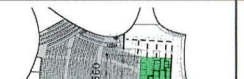
メインホールに入ってみましょう。クラシックを鑑賞するのに十分な静寂に包まれ、すみずみまで音が響きわたる優れた音響性能をもつホールです。

このホールは、演者との一体感をももし出す「ホールインホール型」や、広い舞台や設備を備えた「劇場型」、客席が舞台を囲む「コンサート型」、舞台空間を自由に使える「広場型」など、演目にあわせてさまざまな形に変えられます。



【メインホール・広場型】イメージ図

【メインホール使用例】

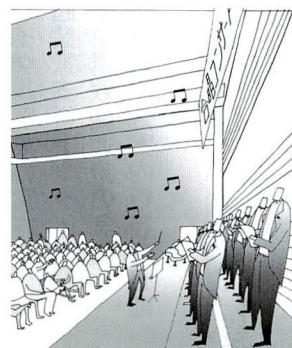
主な 舞台形式 (舞台は緑・ 客席は灰色)					
席数・ 適性演目	ホールインホール型 740席(1階席利用時) (合唱・リサイタルなど)	劇場型 1,120席 (演劇・ミュージカルなど)	大会型 1,270席 (講演会・ショーなど)	コンサート型 1,380席～1,500席 (オーケストラなど)	広場型 — (展示会・お祭りなど)

※「ホールインホール型」とは、客席の一部(オーケストラピット)をせり上げて舞台に転換し、中ホール規模とするホール形式です。

■サブホール

サブホールでは、ちょうど合唱の発表会が行われています。舞台と客席の床が平らな平土間形式のホールは、演奏者を間近に感じることができます。

最大300席の客席が確保でき、展示会やコンサートなどさまざまなに利用することができます。



【サブホール】イメージ図

■練習室・会議室など

明るく開放的な練習室では、市民の皆さんが楽しそうに音楽やダンスの練習をしています。みんなが気持ちよく創作活動ができるアトリエ・会議室などもあります。

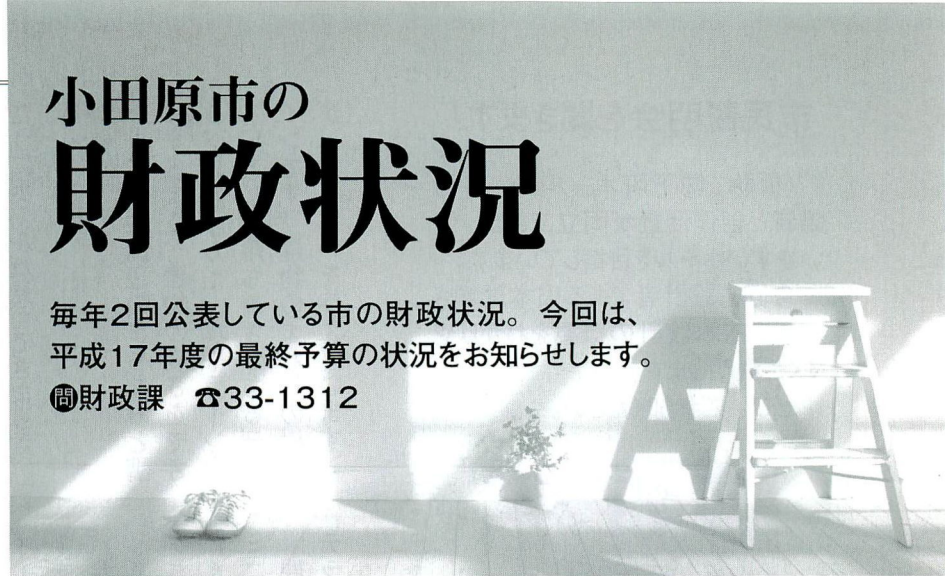
：コンサートが終わり、ホールを後にする観客たち。駅に向かって途中、お堀をわたる風と木々の緑に包まれながら、いつまでも余韻を楽しんでいるようです。

いかがですか？ こんなホールが私たちのまちにできるので。今後、平成19年度の建設着手に向け、引き続き実施設計を進めていきます。

小田原市の 財政状況

毎年2回公表している市の財政状況。今回は、平成17年度の最終予算の状況をお知らせします。

問財政課 ☎33-1312



【歳入(合計:597億4,600万円)】

●自主財源

市税	316億1,500万円	52.9%
繰越金	27億6,800万円	4.6%
諸収入	24億1,100万円	4.0%
使用料及び手数料	16億6,100万円	2.8%
繰入金	13億7,200万円	2.3%
分担金及び負担金	8億2,100万円	1.4%
その他(財産収入、寄付金)	4億 900万円	0.7%

●依存財源

国庫支出金	63億3,400万円	10.6%
市債	47億6,800万円	8.0%
県支出金	24億6,900万円	4.1%
地方消費税交付金	18億5,000万円	3.1%
地方特例交付金	10億6,000万円	1.8%
地方交付税	1億5,000万円	0.3%
その他(地方譲与税、自動車取得税交付金ほか)	20億5,800万円	3.4%

※自主財源は、市民の皆さんが納めた税金など市が直接調達できる財源です。依存財源は、国や県から入ってくる財源で、金額は国や県の基準で定められています。

【歳出(合計:597億4,600万円)】

民生費	163億2,000万円	27.3%
土木費	95億7,100万円	16.1%
総務費	93億9,000万円	15.7%
公債費	67億2,700万円	11.3%
教育費	65億6,600万円	11.0%
衛生費	60億4,600万円	10.1%
消防費	22億 200万円	3.7%
商工費	11億5,300万円	1.9%
農林水産業費	7億8,200万円	1.3%
議会費	4億2,700万円	0.7%
労働費	2億4,800万円	0.4%
諸支出金	2億3,200万円	0.4%
予備費	8,200万円	0.1%

平成17年度の一般会計最終予算 (平成18年3月31日現在)

一般会計予算は、6月・9月・12月・3月に補正などを行い、最終的に597億4600万円となり、当初予算と比べて、30億4600万円の増になりました。

平成17年度の主な事業は、次のとおりです。

主要事業

■市民の選択による 予算配分システム対象事業

※個人市民税の1%相当額の約1億円を、アンケートにより市民の皆さんに選んでいただいた事業分野に重点配分しました。

- 高齢者相談機能強化事業の実施
- 高齢者筋力トレーニング事業の実施

- 小児医療費助成制度の拡充
- 小・中学校保健室空調設備の整備

■おだわらルネッサンス推進本部事業

※政策実現宣言「マニフェスト」を着実に推進する「おだわらルネッサンス推進本部」の事業に、約7500万円を配分しました。

- 新幹線新規通勤支援事業の実施
- 子育て支援センターネットワーク事業の実施

- キャンパスシティおだわら事業の実施
- ふるさとの原風景百選事業の実施ほか25事業

■総合計画「ビジョン21おだわら」の 区分に基づく、主要事業

環境共生都市

- 小田原駅東口駅前広場の再整備
- お城通り地区再開発事業の推進

- 地下街施設の整備

- 鴨宮駅南口昇降施設の整備
- 国府津駅前広場の整備

生活福祉都市

- 児童相談員の配置
- 国際医療福祉大学への助成
- 新たな地震被害軽減化対策の実施
- 消防(仮称)南分署の整備

文化創造都市

- (仮称)城下町ホール整備の推進
- 史跡小田原城跡馬出門枳形石垣復元事業の実施
- 生涯学習施設の月曜開館

産業自立都市

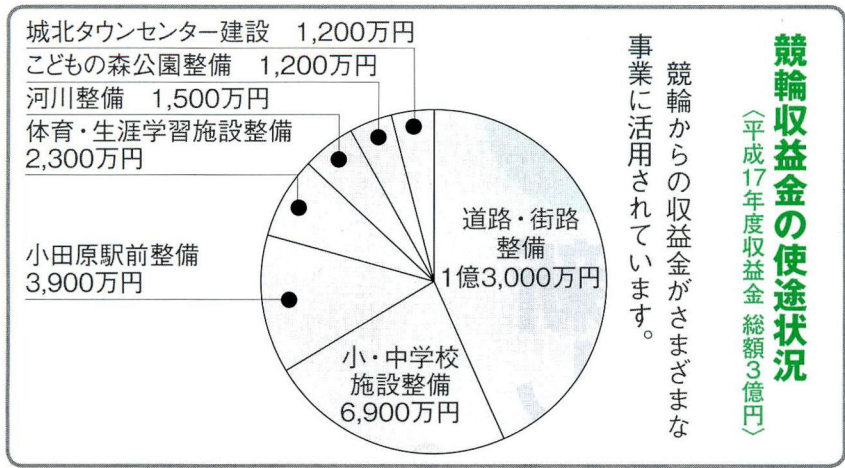
- レンタサイクル事業の実施
- 街なか起業家支援センターの開設
- 新たな企業誘致促進策の実施
- 小田原駅周辺総合案内板等の整備

市民参加都市

- 城北タウンセンターいずみの整備
- 電子入札システムの導入
- アークロード市民窓口での公金収納業務の実施

・・・

平成17年度の決算状況は、あらためてお知らせします。



会計名	予算現額
国民健康保険事業会計	177億5,600万円
競輪事業会計	175億6,200万円
老人保健医療事業会計	150億9,300万円
下水道事業会計	99億7,000万円
介護保険事業会計	79億9,700万円
宿泊等施設事業会計	4億9,100万円
公設地方卸売市場事業会計	1億9,400万円
天守閣事業会計	1億3,900万円
国民健康保険診療施設事業会計	4,200万円
合計	692億4,400万円

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理するための会計です。競輪や下水道、国民健康保険などの事業をこの特別会計で処理しています。

平成17年度の特別会計最終予算

水道事業会計最終予算

	予算現額
収益的収支	収入 34億1,800万円
水をつくり、送り届ける予算	支出 34億 700万円
資本的収支	収入 7億7,700万円
水を送り届ける施設を造るための予算	支出 27億6,200万円

病院事業会計最終予算

	予算現額
収益的収支	収入 92億2,800万円
病院を運営するための予算	支出 96億2,500万円
資本的収支	収入 5億 200万円
施設などの整備にかかる予算	支出 11億8,900万円

企業会計は、公営で行う企業活動で、経済性を発揮して運営される独立採算の会計です。水道と病院をこの企業会計で処理しています。

平成17年度の企業会計最終予算

詳しい内容を知りたいかたは
予算書や決算書などは、図書館
と行政情報センター（市役所）で
閲覧できます。

一般会計			
土木債	163億 700万円	12.4%	
教育債	125億8,100万円	9.6%	
減税補てん債	76億9,300万円	5.9%	
総務債	25億 400万円	1.9%	
衛生債	24億3,100万円	1.8%	
消防債	17億1,600万円	1.3%	
その他	141億9,300万円	10.8%	
特別会計			
下水道債	581億5,300万円	44.2%	
その他	1億5,400万円	0.1%	
企業会計			
水道債	127億1,100万円	9.7%	
病院債	30億6,900万円	2.3%	

市民一人にいくら使われているかを
計算してみると...

市民一人当たりの市税納入額
160,300円

福祉の充実のために【民生費】	82,800円
道路・公園・河川の整備のために【土木費】	48,500円
防災対策・住民登録・市庁舎の維持管理などのために【総務費】	47,600円
借入金の返済のために【公債費】	34,100円
学校教育・社会教育施設の整備、文化財の保護のために【教育費】	33,300円
健康対策と清潔なまちづくりのために【衛生費】	30,700円
火災・水害などから守るために【消防費】	11,200円
商工業・観光の振興のために【商工費】	5,800円
その他議会の運営、労働者の福祉向上、いざというときのために【議会費、労働費、諸支出金、予備費】	5,000円
農業・水産業の振興のために【農林水産業費】	4,000円

市民生活に密着した福祉や道路の整備などに重点をおいた予算になっています。

市民一人に使われる合計額
303,000円

（平成18年3月31日現在の住民基本台帳による人口197,187人で計算）

長期借入金
（平成18年3月31日現在）

市が長期に借り入れている借金の内訳です。市民の皆さんからの税金を主な財源とする一般会計での長期借入金は574億2500万円、市民一人当たりで計算すると、29万1200円になります。

なお、特定の収入で特定事業を行う特別会計や独立採算の企業会計の長期借入金総額は740億8700万円です。

誕生!

新しいみんなのうた

童謡のふるさと・小田原で

「童謡」、それは人々が日々の生活の中で見て、聞いて、感じた情景などを、飾らないことばでそのまま表わした歌であり、だからこそ子どもからお年寄りまで、何げなく口ずさみ、いつまでも愛されるものなのです。

問 生涯学習政策課 ☎ 33 1 7 1 2

第3回 全国童謡フェスティバル

～白秋 IN 小田原～

平成19年1月21日(日) 市民会館

フェスティバル観覧の申し込みは、今後、広報おだわらでお知らせします。



北原白秋

日本を代表する詩人北原白秋は、小田原をこよなく愛し、「木菟の家」と名づけた小屋と3階建ての洋館で、童謡、民謡、小説など文芸活動に励みしました。

特に、1,200編におよぶ童謡作品のうち、「赤い鳥小鳥」、「あわて床屋」、「揺籃のうた」、「砂山」、「からたちの花」、「待ちぼうけ」、「この道」など、約半数の作品が小田原で創られたものなのです。

白秋の功績をたたえ、日本人の心のふるさとである童謡を歌い継ぐとともに、新しい童謡を小田原の地から誕生、発信させ、童謡を通して全国の人々との交流を図るため、平成12年度から「全国童謡フェスティバル」白秋IN小田原」を開催し、今までに4曲の新作童謡が誕生しています。

市長随想

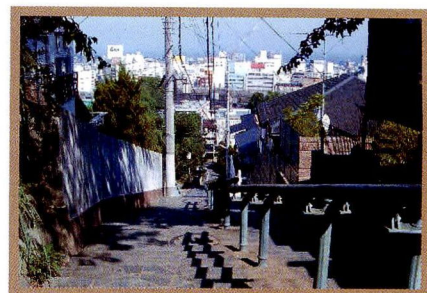
クールビズ

文 小澤良明

「だらしない、と言われるような服装だけは遠慮して欲しい。できればえりのついたものを」。一昨年から本市では制服を止め、その時の私の基本的な考え方である。個人のセンスや好みは何処まで口出しをして良いのか迷ったのだが、これだけはハッキリと言わせてもらった。

昨年の夏から官製には珍しく、「クールビズ」がブームとなった。既にノーネクタイが当たり前になっていった職員達は、形や色柄が多彩で値も手頃なワイシャツがどつと出回っただけ得、そんな感じだったが困ったのは私である。二十年前前にゴルフを止めてしまった上、最近でこそ山歩きを始めるようになって多少のシャツや替ズボンはあるのだが、「クールビズ」にふさわしい服は殆んど持っていない。

自称仕事人間の私にとって「服」と言えばずいっと背広だった。背広がいつでも作業服、大切な商売道具だった。それだけに背広、ワイシャツ、ネクタイにはこだわりのあつて全部自分で買い自分で選んできた。「清潔そうでキチンとしている」、私の選択基準は簡単明瞭である。日々の生活の中から長い間にしみついた私なりの服装哲学であ



小田原ふるさとの

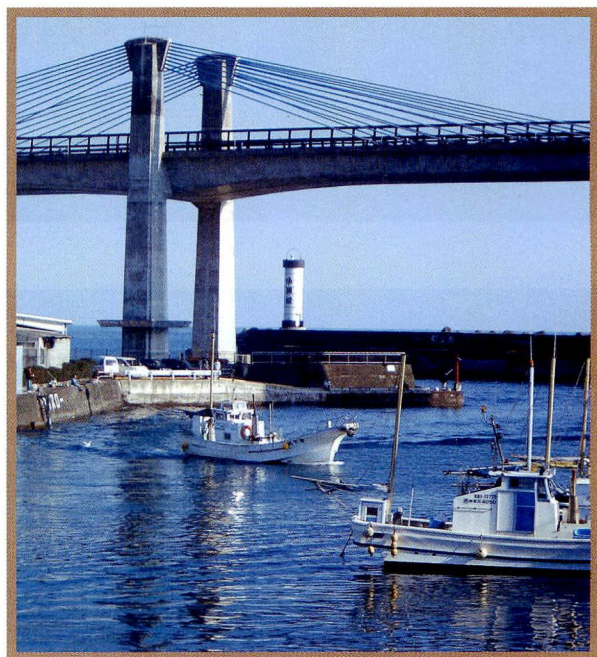
原風景百選

おだわらルネッサンス推進本部事業

どこのまちも、時代とともに古い家並みは少なくなり、草の生えたあぜ道や田畑は舗装路や新しい住宅地へと姿を変えてきています。

なくしてしまった風景を思うとき、心にぽっかり穴があいてしまったような気分になることがあります。とても大切なものをどこかに忘れてきてしまったような、そんな気分。きっと、その風景の中に大切な家族や友達、そして自分がいたからなのでしょう。これは、日ごろ目にしている何げない風景が、かけがえのないものとして感じられる瞬間でもあります。

風景の片隅に残るかつての面影や一枚の写真から、昨日のことのように思い出される風景があるでしょう。

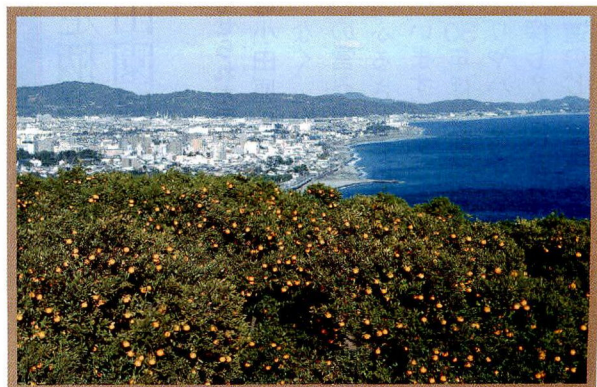


意外な風景を目にして、それが心に残っていることもあるでしょう。

そしてその風景を大切にしたいと思う。それこそが私たちの「原風景」なのです。それは、幼いころの家族との会話や、懐かしい仲間と過ごした青春の日々という心の風景かもしれませんし、新しく生まれた風景かもしれません。

記憶や思い出に残る小田原の身近な風景を見つめ直し、愛着を深めるために募集した「ふるさとの原風景百選」。市民の皆さんのさまざまな思い出とたくさんのストーリーが寄せられ、百の風景が選ばれました。

さあ、ページをめくってください。そして、気づいてください。あなたにも原風景があることを。



片浦地域 ふるさと感じさせる風景

潮騒の駅・根府川

寄せられた思い出・エピソード

●知らない土地にお嫁に来ることになり不安なとき、ふるさとの海に似た風景に、ホッとしたい出が。いつ見ても、自然の中に置かせてもらっているホームが好きです。

●実家に帰って来る際に、一番「帰ってきたー」と感じるのが、根府川からの相模湾の景色を見たときです。



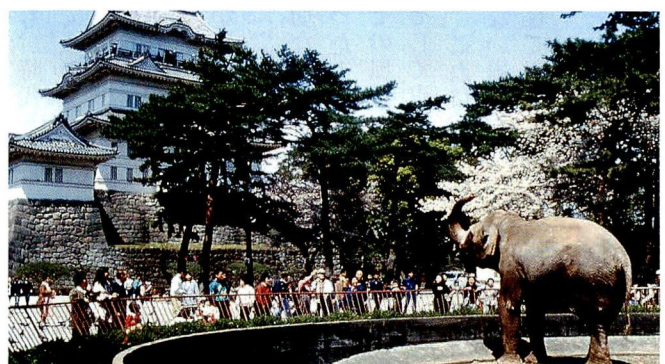
1,237件の応募がありました

募集は、平成17年8月15日から18年1月20日まで行われ、応募総数は1,237件に上りました。

小さな路地裏から

四季の彩りを感じさせる雄大な風景に至るまで、それぞれの原風景とともに、それにまつわる思い出やエピソードをお寄せいただきました。その一部を紹介します。

- ★ 潮騒の駅・根府川
- ★ 東洋のリビエラ・片浦
- ★ みかんの花咲く丘と青い海
- ★ 白糸川の清流と赤い鉄橋
- ★ 石橋山古戦場と佐奈田霊社
- ★ 寺山神社と鹿島踊り
- ★ 小田原城天守閣
- ★ 小田原城のお堀と隅櫓
- ★ 小田原城の桜や藤
- ★ ウメ子と遊園地
- ★ 思い出がつまった城址公園
- ★ 学橋とお城の小学校
- ★ 北條五代祭り
- ★ 城下町のたたずまい
- ★ 小田原の玄関「小田原駅」
- ★ 昔ながらの小田原駅周辺の商店街
- ★ 石垣山一夜城
- ★ 小田原城の総構
- ★ 白秋の散歩道「城山境界」
- ★ 青春の百段坂（学びの場）
- ★ 自然と出会う久野の森
- ★ 久野丘陵から見るまちの眺め
- ★ 久野の里山
- ★ 久野川の桜並木
- ★ 荻窪用水と「めだかの学校」
- ★ けやき通りの四季の彩り
- ★ 風祭の奥山と入生田しだれ桜
- ★ 小田原用水
- ★ 旧東海道の街並み
- ★ 板橋路面電車の思い出
- ★ 緑深い板橋の別邸と寺社
- ★ 板橋地藏尊と縁日
- ★ 宿場町の記憶を残す街並み
- ★ 花と文化の香る西海子小路
- ★ 御幸の浜
- ★ 御幸の浜海水浴場と海水プール
- ★ 御幸の浜別邸跡とゆかりの人びと
- ★ 心安らぐ早川界限
- ★ 早川の漁港
- ★ 海のなりわいのある街並み
- ★ 相模湾をのぞむ浜
- ★ まち中の祭礼
- ★ 車窓に広がる田園と山並み
- ★ 晩秋の案山子と野焼き
- ★ 村中を流れる石積みの水路
- ★ 二宮金次郎ゆかりの地
- ★ 報徳堀
- ★ 足柄平野の自噴井戸
- ★ 四季の自然と出会う狩川の土手



中央地域 楽しく遊んだ思い出の風景

思い出がつまった城址公園

寄せられた思い出・エピソード

●子どもが幼いころ、よく遊びにきました。小田原城、遊園地、動物園の3つの楽しみがあり、私たち家族にはデイズニードのようなものでした。

●長男夫婦、孫、主人と春夏秋冬に出掛けました。冬は梅見、春は小田原城と桜の美しい風景に感動しました。北條五代祭りも素敵でした。

富水桜井
地域 レンゲ草畑や野焼きなど
田んぼの風景

足柄平野の田園風景

寄せられた思い出・エピソード

●小田原には「まち」だけではなく、広々とした田んぼと農の営みの風景が根付いていて、ふるさと思ひ出し心が潤います。

●30年ほど前、お正月には、セリやハコベなどの春の七草を探して歩いたり、秋にはあぜ道のじゅうず玉の実を採ったりしました。

酒匂川
地域
清らかな水と生き物を
感じさせる風景

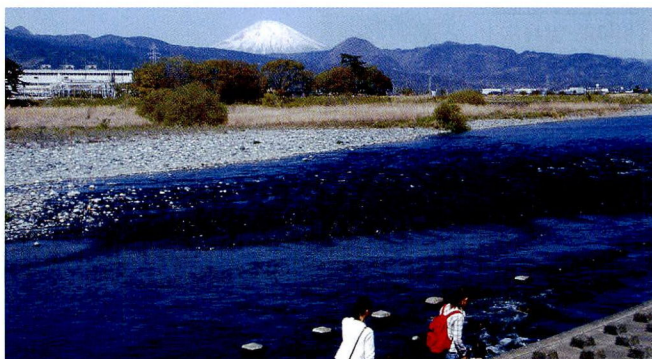
家族や友人との 思い出の酒匂川

寄せられた思い出・エピソード

● 学校が終わると、カバンを投げ出しバケツと竹竿を持ってフナ釣りに出掛けました。釣れないと橋の下でダボハゼ釣りに興じたものでした。

● 例年開催されている「親子でアユの放流体験」。

水の美しい酒匂川で大きく育つてと願う親子の姿がほほえましいです。



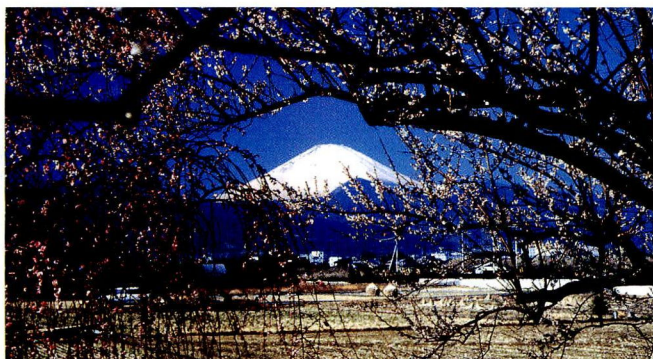
川東北部
地域
様々な表情を見せる
富士を望む風景

曾我の梅林

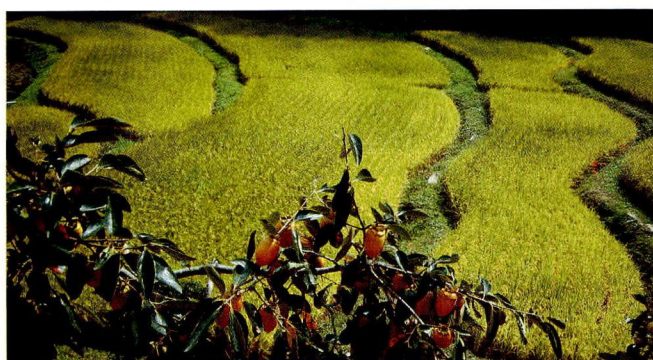
寄せられた思い出・エピソード

● 梅とみかんの木が民家と溶け合い、素朴なたたずまいを見せています。梅の花を通して見る富士の姿が美しいです。

● 昔の人は、梅見に出掛けると一首詠み、家で衣の梅の残り香を楽しんだといひます。半信半疑でしたが、家に帰ったら本当に梅の香が服に残っていました。



- ★ 霞堤と松並木
- ★ 酒匂川のサイクリングコース
- ★ 富士と箱根連山を望む酒匂川の橋
- ★ 水鳥が渡る飯泉取水堰
- ★ 「天国と地獄」酒匂川の鉄橋
- ★ 富士と自然を感じる小田原大橋
- ★ 浮世絵に描かれた酒匂の渡し
- ★ 曾我の梅林
- ★ 梅の天日干しなどなりわいの風景
- ★ 曾我山と富士の眺め
- ★ 宗我神社周辺の文学の風景
- ★ 秋祭りと寿獅子舞
- ★ 傘焼まつり
- ★ 足柄平野の田園風景
- ★ 桜土手
- ★ メダカの小川
- ★ 飯泉観音と巡礼街道
- ★ 変わらぬ御殿場線の土手
- ★ 憩いの場・上府中公園
- ★ 千代小学校と大ケヤキ
- ★ 変わらない永塚
- ★ 国府津・酒匂の海
- ★ 相模湾の日の出
- ★ 国府津の街並みと海への小路
- ★ 国府津山からの富士や相模湾の眺め
- ★ 東海道線と国府津駅
- ★ 新幹線発祥の地
- ★ 帰って来たと感じる車窓からの眺め
- ★ 剣沢川の散歩道
- ★ 菅原神社と初天神
- ★ 印刷局の桜
- ★ 住宅地の中のレンゲ草畑と矢作の森
- ★ 桜の馬場
- ★ 橋の祭り
- ★ 藤村ゆかりの前川
- ★ 沼代の棚田と里山
- ★ 相模人形芝居・下中座
- ★ 国道1号と駅伝
- ★ 箱根おろしと南風
- ★ 小田原ちようちん
- ★ 子どもたちが遊ぶ身近な公園
- ★ 相模の漁と市場
- ★ 早川・酒匂川の鮎釣り
- ★ みかんもぎ
- ★ どんと焼き
- ★ 小田原雛
- ★ 火防祭と火伏せ祭り
- ★ 鎮守の杜
- ★ 今はない小田原の思い出の風景



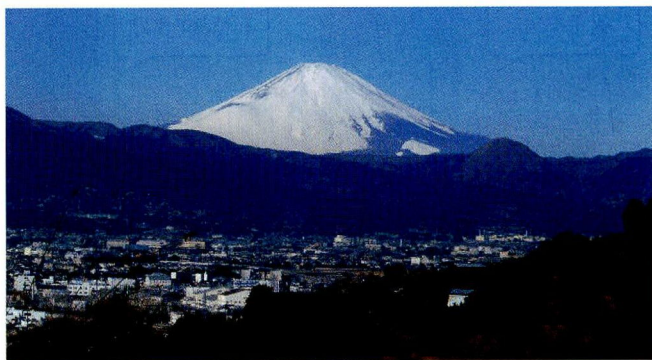
川東南部
地域
相模湾とまちを一望できる
風景

国府津山からの富士や相模湾の眺め

寄せられた思い出・エピソード

● 国府津山から梅の花咲く時期に富士山を望むと、梅の花が雲のように見えます。その季節の小田原だからこそ見ることのできる風景です。

● 国府津・曾我丘陵から富士山、箱根連山、真鶴半島、伊豆半島、相模湾を背景に小田原の市街地を一望できます。市を代表する雄大な眺望だと思います。



橘地域
季節や時間を感じる
彩りの風景

沼代の 棚田と里山

寄せられた思い出・エピソード

● 東京勤務から帰って来て、久々に沼代の雑木林を見たら、微妙なその美しさと豊かさに驚き、山に入って遊んだ昔のことを思い出しました。

● 仕事の途中で見つけた沼代の棚田。6月初めには美しい風景が見られます。

思い出の
国府津駅

日本文芸家協会会員
日本ペンクラブ会員
新井 恵美子さん



父の郷里前川に疎開し、初めて国府津駅と出会いました。父は、六歳の私を高く抱き上げて「ほら、海だよ」とプラットホームから鏡のように美しく光る海が見えまじく。今でもこの駅に立てば思い出がよみがえります。

国府津の海と、
下曾我の
菜の花畑

タウンクリエイター
松村 みち子さん



国府津の海辺で育ち、潮さいが子守歌でした。砂浜は子どもたちの遊び場であり、盆踊り、花火大会と大人にとっても娯楽の場でした。水平線のはるか向こうの国に思いをはせ、毎日、海の色を眺めていたものです。

国府津の八幡神社、
宝金剛寺への入口が
ある通り沿いの住宅街

工学院大学
建築都市デザイン学科教授
後藤 治さん



道を流れる水路、生け垣越しに並ぶ昔ながらの低層の住宅(中には別荘として使われていた住宅もあるそうです)、背後の山に加えて、古くからの神社もあるなど、こういうところで暮らしてみたいと思わせる町並景観です。

石橋山古戦場
と佐奈田神社

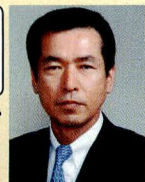
シンガー・ソングライター
白井 貴子さん



みかん山から見下ろすお社と、視界いっぱい広がる大海原、相模湾。「源頼朝も同じ風景を見て頑張っていたんだ」と思うだけで、気分は大河ドラマ。遠い昔に思いをはせつつ、永遠を感じる眺めは絶景です。

相模湾・霊峰富士・
箱根連山・酒匂川とい
った自然と小田原城址

市議会議員
井原 義雄さん



東京方面から帰省する時、相模湾を目の当たりにしたときは、小田原に帰ってきたと実感できます。言葉では言い表せません。また、桜の季節の小田原城址も最高。心に残しておきたい風景の一つです。

酒匂川鉄橋と
その周辺

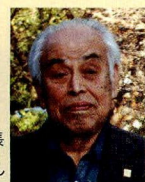
映画プロデューサー
小田原映画祭実行委員
露木 栄司さん



高校生のころ、8ミリ映画のオープニングシーンを酒匂川鉄橋東側の河川敷で撮影しました。黒澤明監督「天国と地獄」の名場面が登場する場所でもあり、映画に関わる仕事をしている私にとって大切な風景です。

小田原城
大手ルート

郷土史家
市郷土文化館協議会副委員長
三津木 國輝さん



小田原城は、廃藩置県後、無用の長物とばかり破壊されてしまいました。その後、天守閣、常盤木門が復興され、さらに住吉橋、銅門が復原され、城の大手ルートは形態を整え、観光客に歓迎されています。

村中を流れる
石積みの水路

市民公募
米山 有美さん



水田を縦横に流れるせせらぎは、子どもたちの遊び場、米作りの手間ひまや精巧な自然の仕組みをいつの間にか知ることができ、本物の体験がありました。そんな遊びの原風景を大切に伝えていきたいと思っています。

荻窪用水

市民公募
磯崎 三好さん



箱根早川の清流を引き入れ、当時水がなく米作ができなかった荻窪の地に大きな恵みを与えた川口広蔵の20年にわたる苦難に耐えた信念と人々の情熱を思いながら、歩いて、見て、学べる先人の偉業の景色です。

桑原の田んぼ

市自治会総連合会長
富川 正秀さん



田んぼは、農家の事情によつて変化し、いつまでも原形を残すことは難しいですが、素掘りの農業用水路があり、貴重な生き物も生息する、のどかな田園風景が広がる自然環境を未来に伝えていきたいと思っています。

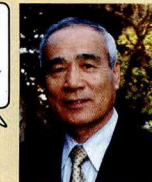
あなたの 思い出の場所は どこですか

ふるさとの原風景百選 選定委員

選定委員会を設置して決めました。
選定委員は、文芸や環境分野の第一線で活躍されているかたや、市議会議員、学識経験者、市民代表の皆さんです。
委員のコメントの一部を紹介します。

国府津みかん山
から見た風景
曾我の里(見晴らし
コース) 見晴らし台

日本写真家協会会員
山下 勲さん



市外、県外からおよ越しの人に最初にお勧めの場所。足柄平野、酒匂川、富士山、相模湾、小田原市街の眺望はすばらしい。ここから小田原の想像と連想が始まります。小田原を知るにつれ、この眺めはさらに思いが深まります。

すべての原風景を ご覧ください

「小田原ふるさとの原風景百選」パネル展

日時 7月3日(月)～14日(金)

8時30分～17時15分

場所 市民口ビー(市役所2階)

※今後も、各所でパネル展を開く予定です。

百選のすべてを紹介した冊子は、行政情報センター(市役所4階)・図書館・かもめ図書館・中央公民館・川東タウンセンター「マロニエ」・城北タウンセンター「いずみ」でご覧になれます。
また、ホームページでも公開しています。

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/life/environ/kextutei.html>

問企画政策課 ☎ 331404

あ
と
が
き

百選は、その魅力的な風景が持つ美しさだけでなく、人それぞれの思い出やストーリーとともに分かち合い、小田原共通の財産として、その魅力を再確認していただくことが大切です。
そして、どうすれば残していくのか、もつとよくなるのかをみなさん一人一人が考え、行動につなげていくことで、まちの魅力がさらに高まっていくことでしょう。

創作童謡詩コンクール

あなたも、新しい童謡を創ってみませんか？最優秀作品はプロの作曲家に作曲を依頼し、フェスティバル当日に披露します。

みんなに愛され、心にしみ入るような詩をお待ちしています。

申込

9月8日(金)まで(必着)に、このコンクールのために創作されたオリジナルの詩(形式自由・1人2編まで)を

400字詰め原稿用紙(2枚以内)に縦書きし、参加申込書を添えて郵送またはEメールで。

T2508555

小田原市教育委員会生涯学習政策課内

第3回全国童謡フェスティバル

実行委員会事務局

Eメール

shosei@city.odawara.kanagawa.jp

ホームページ

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp>

※原稿用紙の1行目に必ず氏名を記入してください。

※参加申込書は市施設にあります。市ホームページからもダウンロードできます。

審査結果

11月中旬に郵送で。

表彰式 フェスティバル当日

①一般の部・最優秀賞1人

【賞状・楯・副賞30万円】など

②中学生以下の部・最優秀賞1人

【賞状・楯・副賞5万円】など

第2回 コンクール最優秀作品

【中学生以下の部】

ふしぎ ふしぎ

作詩…篠島沙有実
作曲…石井 歆

ふしぎ ふしぎ
小さな 小さな ありんこが
大きな 大きな 虫もつて
こうしんしてるの ふしぎじゃない？

ふしぎ ふしぎ
暗い 暗い 空の中
キラキラ 光る 雨つぶが

あそんでいるの ふしぎじゃない？

ふしぎ ふしぎ
だれも知らない よるのうち
あまい あまい さくらんぼ

まっかになるの ふしぎじゃない？

ふしぎ ふしぎ

ふしぎは いっぱいあるけれど

だれも おしえてくれないの

どうしてなのか ふしぎじゃない？

【一般の部】

きんのはっぱ

作詩…小山肇美
作曲…湯山 昭

いちようなみきに かぜがふき
きんのはっぱが まいあがる
ことりになって まいあがる

きんのことりに かぜがふき
あおいおそらを とびまわる
かぜのかたちに とびまわる

いちようなみきの かぜがやみ
ことりはみんな おりてくる
はっぱになって おりてくる

きょうはよいつき まるいつき
つきのひかりに てらされて
いちようなみきは きんのかわ
てんまでつづく きんのかわ



これらの作品は、市ホームページで聞くことができます。

また、小田原駅東口のカリヨンベルでも、新作童謡のメロディーが流れています。

11:00ねずみがかじる(第1回最優秀作品)

14:00ふしぎふしぎ

る。地球環境とか省エネとかで「クールビズ」と言われても、私としては涼しい、カッコイイと素直に同調しかねる。

確かに梅雨や酷暑の季節には上着を脱ぎ捨て、ネクタイをむしりとりたくなる時もある。しかし私が古いのだろうか、テレビに映るクールビズ姿の政治家をみても何かダラケているように思えることもある。特に難しい交渉事のような時には相手に訴える力や迫力も違う。仕事柄で相手がスーツをキチンと着ていれば同様にしないと失礼であらうし、ラフで良い時もある。一日の内にそれが何回も繰り返されると、結局、無難に背広でということにもなる。



どなたかが背広の効用を、「誰もが信用性、審美性、安心感を難なく得ることができる」と述べておられたが、仕事をしている男の制服はやはり背広である。たとえ暑くとも涼しげにピシッと着こなすところがカッコイイ。外見を甘く見てはいけない。

そうは言いながらも年々ひどくなる酷暑を前にして、洒落た色柄のシャツでも買いに行こうか、などと思い始めてもいる今年の私である。

環境にやさしいまちづくりを 市環境基本計画を改訂

地球温暖化や化学物質などの新たな環境問題や、環境への関心の高まりなどの社会情勢の変化に対応していくため、環境審議会の答申を受けて環境基本計画を改訂しました。

環境政策課 33 1475

今回の改訂は、まちづくりの施策

一つ一つに環境というフィルターを通して取り組みを取り入れ、環境基本計画の中で望ましい環境像として「良好な環境のもとで、すべての人々が心の豊かさを感じられ、健康で幸福な生活を営むことのできる郷土」を実現するため、環境行政を総合的かつ計画的に進めていくことを目的としました。

この計画は、21世紀半ばを目指した長期的な環境づくりのための計画ですが、着実に計画を進めるため、具体的な計画期間を平成18年度から22年度までの5年間としました。

地球温暖化対策やごみ減量対策などを重点分野として掲げ、市民、事業者、行政などのパートナーシップを大切にしながら取り組んでいきます。

なお、計画の進捗状況は報告書を作成し、皆さんにお知らせします。



▲低公害車の走るまち小田原
約430台のハイブリッド車や天然ガス自動車など低公害車が市内を走行中！目標は1万台。



▲市の鳥コアジサシの郷づくり
春には酒匂川で市民の皆さんと一緒に、コアジサシの営巣地の整備を行っています。

5つの基本方針

1. 環境への負荷の少ないまちづくり
2. 省資源・循環型社会を目指したまちづくり
3. 身近な自然とのふれあいを目指したまちづくり
4. 小田原らしい文化・風土を活かしたまちづくり
5. 広域的・地球的視野に立つたまちづくり

おだわらインフォメーション

Odawara Information

シリーズ『防災』1 大地震は必ず来る

間 温泉地学研究所 33 3588

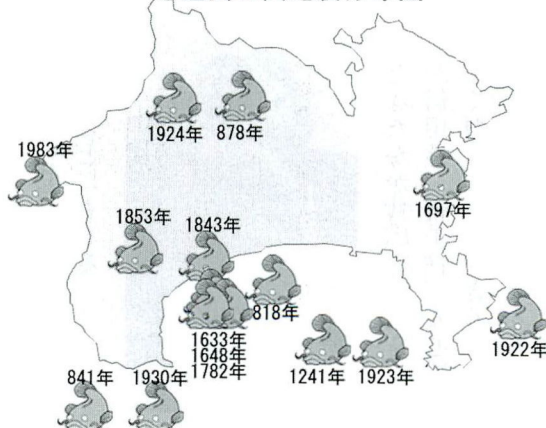
「神奈川県西部地震」のように、気象庁から地震に正式な名称が与えられるのは、大きな被害があった場合に限りです。例えば、1995年1月に神戸や淡路を襲った地震は「1995年兵庫県南部地震」と呼びます。それに対し、まだ起こっていないが確実に起こると想定された地震も、「東海地震」のように命名されることがあります。県西部地震もその一つです。

それでは、なぜ県西部地震の発生が確実視されてきたのでしょうか？相模湾西部では何度も繰り返し地震災害が発生しました(図参照)。

この繰り返しは将来も続くと考え、この地震発生が確実視されているからです。

温泉地学研究所などの地震や地殻変動観測からは、県西部には南北方向に地面を縮めようとする力が働いていることがわかっています。この力が働き続け限り、私たちは地震災害

過去の大地震分布図



害の準備が必要なのです。

温泉地学研究所は、このような地震を発生させる力や活断層に関わる調査や研究を行っています。最新の地震活動や研究成果などは、温泉地学研究所のリニューアルしたホームページをご覧ください。

<http://www.onken.odawara.kanagawa.jp/>

【お詫びと訂正】

広報おだわら6月1日号12ページ平成18年度自治会長名簿の記事中、国府津第9区自治会長のお名前は正しくは向尾恭政さんでした。お詫びして訂正します。

お待たせしました!!特産品!! 新製品「本格お茶焼酎 茶華」登場!

地元の特産品として定着した「小田原わいんシリーズ」や「あじサブレ」に加え、新たな特産品がベールを脱ぎます。

農政課 ☎ 33 1 4 9 2 FAX 33 1 2 8 6

市では、市内で生産される農産物や水産物に付加価値をつけ、地域のかたや消費者、各種団体と共同開発した「特産品」の商品化を進めています。

今回、第8弾として満を持して登場したのは、小田原の母なる川である酒匂川流域のお米と肥沃な足柄平野で栽培されている足柄茶を使った焼酎「本格お茶焼酎 茶華」です。

この「茶華」は、米焼酎独特の香りと軽快な味わいに加え、ほのかに香るお茶の風味が特徴で、とても飲みやすく仕上がっています。

県内でもトップクラスの生産量を誇る小田原の米と県西部で広く栽培されている足柄茶の絶妙なコラボレーションをこの「茶華」を通して

お楽しみください。

発売日は7月3日(月)予定、1,800本の限定販売です。

■本格お茶焼酎 茶華

容量 720 ml、アルコール分25度

価格 1,260円(税込)

発売元 小田原酒販協同組合

☎ 24 2 2 7 1

県西地域2市8町の組合加盟酒販店で購入できます。



発売を記念して10人のかたに「本格お茶焼酎 茶華」をプレゼントします。
応募方法 7月14日(金)まで(必着)に住所、氏名、年齢、職業を書いて、

はがきかファクスで。

〒250-8555 小田原市農政課

※発表は厳正な抽選の上、商品の発送をもってかえさせていただきます。
なお、応募者の個人情報商品の発送のみに利用します。

おだわらインフォメーション

Odawara Information

「市民選択による予算配分事業」で 小学校にインターホンが!

今、日本各地で子どもたちが犠牲となる痛ましい事件が続いています。そこで、市内の小・中学校でも防犯教育の強化に取り組んでいます。

市民の皆さんからも「不審者対策の充実」に多くの要望をいただいていることから、今年度、「市民選択による予算配分事業」の一環として、教室や体育館などと職員室を結ぶインターホンを設置することになりました。6月下旬までに小学校21校で設置工事を終わっています。

教育政策課 ☎ 33 1 6 7 3

今後安全で快適な学校づくりを第一に、施設の整備を進めていきます。

教室や
体育館など



インターホン連絡



職員室

花火を楽しむときは、ご注意を

環境保護課 ☎ 33 1 4 8 2 小田原警察署 ☎ 32 0 1 1 0

これから夏休みシーズン、花火が楽しい時期になります。

市では、花火をするとき

には近隣のかたに迷惑をかけないよう配慮したり、夜10時以降翌朝6時



までは公共の場所で花火を禁止する「深夜花火規制条例」を施行しています。

皆さんも、楽しく快適に花火ができるようご協力ください。

もし、花火の音で迷惑を感じている場合は、ご連絡ください。

また、緊急を要する場合は、最寄りの交番へご相談ください。

行政改革の取り組み結果

「地域の活性化」「財政運営システムの見直し」「職員の意識改革」「主体的自治の確立」「市民満足度の向上」を5つの目標とした市の行政改革の平成17年度の主な取り組み結果を報告します。

問 行政経営室 331305

平成17年度の主な効果額 3億5,742万円

【歳出削減】 1億7,409万6千円

(主なもの)
人件費の削減 1億5,225万円
事務事業の見直しと合理化 2,184万6千円

【歳入増加】 1億8,332万4千円

(主なもの)
市立病院の診療収入の改善 1億6,141万2千円
入湯税の導入 1,526万4千円※1

<参考>平成18年度当初予算に反映された効果額※2 2億8,074万円

(主なもの) 補助金の見直し 2億1,080万7千円
ゼロ予算事業 3,243万7千円

※1:18年5月末現在の速報値

※2:人件費を除く

市民満足度向上のための取り組み

●市民満足度・重要度調査

市民のかた3,000人を対象に、市政の33の事業分野について「満足度」と「重要度」を調査しました。回収率は今回も62・1%と大変高く、ご協力に感謝します。

●市民の選択による予算配分「重要度」が高いにもかかわらず「満足度」が低かった事業分野に、市民税の1%に相当する約1億円を重点的に配分しました。

●市民満足度向上行動計画
不満となった要因を解消する事業を、各部長が中心となって計画し、行いました。

ゼロ予算事業の推進

本来であれば予算を必要とする事業を、各部署の知恵と汗により、事業費をかけないで行う「ゼロ予算事業」を推

進しました。

↓50事業で32,437千円の直接事業費の削減(平成18年度当初予算)

【主な事例】一人ひとりがパトロール事業：職員全員が公務中や通勤中に道路の損傷などの発見に努め、当該箇所の情報を報告するシステムを確立

部局長の裁量権の拡大

状況の変化に対応したタイムリーでスピーディーな事業を行うため、部局長の予算編成と人事配置に関する権限を拡大しました。

↓予算編成・部局への予算配分と部局長の重要度や優先度の判断による主体的な予算編成

↓人事配置・定期人事異動における部局長への人事権の一部委譲、業務の繁閑に応じた応援職員の配置

指定管理者制度の導入

民間事業者やNPOなどを市の施設の管理運営主体

とする指定管理者制度を今年度、7施設に導入しました。

↓各施設合計で6,507千円の削減(平成18年度当初予算)

行政改革のアクションプログラムを実施

平成17年度のアクションプログラム(実施方策)に基づいた60件の取り組みのうち、主なものは次のとおりです。

■補助金の見直し

市民など10人で構成された「小田原市補助金等検討委員会」から提出された答申を踏まえ、236件すべての補助金を見直し、17年度予算と比べて2億1,080万7千円を削減しました。

■水道料金の滞納整理の強化

弁護士による法務相談、分割納付の誓約書の提出、個別訪問や催告後の給水停止処分などにより、水道料金の未納額を397万9千

円削減しました。

■人件費の削減

業務の効率化や外部委託により職員数を削減し、17年4月1日現在の職員数は16年度に比べ30人減の1,961人となりました。これにより、1億5,225万円の人件費を削減しました。

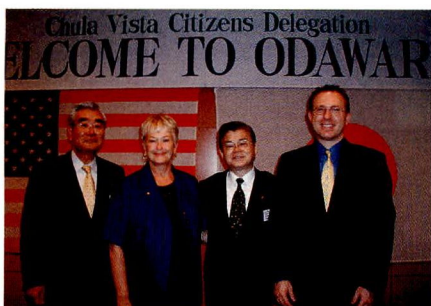
●電子申請・届出システムの稼働

昨年7月から、コストを抑えるため県内の自治体との共同運営により「電子申請・届出システム」を稼働させ、3月末までに市独自のものも含めて40の手続きが対象となりました。

■建築物等の高さの制限

良好な都市環境を維持・保全するために、市街化区域全域を対象に地域の特性に応じて建築物等の高さを制限しました。また、お城などの特定の対象物について良好な眺望景観を確保する条項を盛り込んだ景観条例を制定しました。





昨年5月、チュラビスタ市の市民訪問団来訪の一コマ。
右からジェイソン・ハーモン国際親善委員会委員長、小澤市長、パトリシア・デービス市長代理、原会長

小田原海外市民交流会
会長 原義明

姉妹都市提携25周年を迎えて

市の海外姉妹都市である米国カリフォルニア州チュラビスタ市とは、姉妹都市を提携して今年で25周年を迎えます。その間、市民がお互いに訪問したり、毎夏、青年を派遣し合いながら親睦を深め、交流を温めてまいりました。

この度、姉妹都市提携25周年を記念して、1週間の予定で市民訪問団を結成し、チュラビスタ市を訪問します。市長・市議のかたがたをはじめ、会員・市民の皆様の参加を得てチュラビスタ市を訪問したいと思っています。多くの市民の皆様の参加を期待しています。

LET'S TRY 国際交流!

～小田原海外市民交流会～

問 文化交流課 ☎33-1703

小田原海外市民交流会（O I F A II オイファ）は、姉妹都市米国チュラビスタ市との交流を柱としながら、日本語教室の開催や季節ごとの催しなどを通して、小田原に住むすべての人々が国籍を越えて理解し合い、住みやすく、仲良くなれるお手伝いをしています。

今年は、姉妹都市提携25周年の記念として市民訪問団を組織してチュラビスタ市を訪れます。あなたも参加してみませんか。

世界は、目の前に広がっています。



古澤 樹里さん

このプログラムでは、両市の文化交流を中心にたくさんの事にチャレンジし、英語力の向上にもつなげたいと思います。



長谷部 直子さん

チュラビスタ市と良いコミュニケーションを築き、それを継続できるよう笑顔で輪をつないでいきたいです。



小林 有里枝さん

異国を肌で感じ考え、また私たちの小田原の魅力を一緒に学び、お互い楽しく交流できるようにしたいと思います!



池内 彩さん

考え方や文化や言語などがまだまだである中でも、積極的にコミュニケーションのとれる人になりたいです。

一足早く、行つて来ます!

市民訪問団より一足早く行われる、チュラビスタ市との青年交流事業に参加する4人が決定しました。

8月3日(木)に出発し、約2週間に

わたって、ホームステイやボランティア活動などを通して親善を深めます。出発を前にした意気込みをお聞きました。



国際交流の第一歩
チュラビスタへ行こう!

市民訪問団参加者大募集!

期間 10月27日(金)～11月2日(木)
行先 チュラビスタ、カナダ・バンクーバー

対象 市内在住のかたなど40人・先着順
費用 1人22万円(オプション代別途)
申込 7月28日(金)までに、はがきに住所・氏名・電話を書いて郵送。
〒250-8555
小田原市文化交流課
※詳しくは、お問い合わせください。



集まれ! 中学・高校生たち

ジュニア・リーダーズ・クラブ

中 学2年生から高校3年生までの80人が活動しています。

活動を通して自主性、協調性などを身につけ、自己を高めるとともに、将来の青少年健全育成に関する地域活動のリーダーを育てようと、昭和61年に発足し、今年で20年目を迎えました。学校や学年を越えた新しい友達ができたり、リーダーとして小学生などと接する経験は、きつとあなたのためになるはずです。

活動内容

● 定例会

月に1回、ゲームやレクリ

エーションダンスの勉強会、キャンプ研修やクリスマス会など楽しい行事の企画から運営まで、すべてをわいわい楽しく話し合っています。

● 青少年健全育成事業の

お手伝い

子ども会行事や日光市今市地区との交歓会など、さまざまな行事にスタッフとして積極的に参加しています。

子どもたちにとってジュニアリーダーは優しく頼りになるお兄さんとお姉さん。どの行事でも人気者です。

ジュニアリーダーの派遣を希望されるかたは、行事の2か月以上前にご連絡ください。

がチャンスだ!!

少子化や核家族化が進んでいる今日、青少年が異なる世代の人たちとふれあう機会は少なくなっています。これから紹介する二つの団体は、ボランティア活動を通して幅広い人たちと交流し、自分を磨こうとしている若者たちの集まりです。 ☎ 青少年課 ☎ 33-1736

ジュニアは最高!



夢はそろって保育士さん。
「遊びを通して何かを教えたいから」

中学3年生 金子彩乃さん(左)
高校2年生 奥田沙耶さん(右)

「中学2年のとき、何かをやりたいと思っていたら募集記事が目にとまって」と奥田さん。この4月からの新会長です。「自分のいいところに気づけてうれしかった。クラブに入ったことはまさに人生の転機」と笑います。

「この活動で人の役に立てることがうれしい。それに高校生や他校生にも友達輪が広がるし」と金子さん。クラブに入ったきっかけは「きらめきロビンフッド」に参加したとき同じ班のジュニア

アリーダーだった奥田さんたちにあこがれていたからとのこと。4月から新役員になった2人にとって、初めての大きなイベントは夏の「きらめきロビンフッド」に向けて、5月に行った野外活動研修。「青少年育成推進員さんの指導のもと、気を引き締めて取り組み、けじめの大切さを知りました」ときっぱり。二人は、「これからも、子どもたちにももちろん自分も楽しく参加できるように心がけ、いいお手本になりたい」「周りのいろいろなことを把握して行動できるようにしたい」と決意を語ってくれました。クラブに入って一回り大きくなった二人の笑顔は絶えませんでした。いつまでも輝け、ジュニアリーダーたち!

18 歳から30歳くらいまでの学生や社会人24人が活動しています。

青少年と社会人とのパイプ役として、異なる世代どうしのふれあいの場を提供しようと、平成5年に発足しました。

ふだんあまり接点のない中学・高校生(学校社会)と社会人(大人社会)との新たな交流の場となり、お互いの豊かな人間性を再発見できるのではないのでしょうか。

活動内容

●ナイトウォーク

主に市内在住の中学・高校生を対象に夏に行っています。市内約20kmの行程に、数か所のチェック・ポイントを設け、さまざまなプログラムを行います。

その中で知らない人とふれ

あう・トキメキを多くの参加者が楽しんでいます。

●国際シンポジウム／青年海外協力隊の話を聞こう

青年海外協力隊で活躍されたかたを講師として迎え、現地での生活や貴重な体験を話してもらい、異文化への新たな理解や国際交流の考え方を深める機会になります。

●古切手・使用済みプリペイドカードの収集

青少年課カウンター・中央公民館・かもめ図書館などの主な市施設で収集し、ジョイセフ(家族計画国際協力財団)の開発途上国への支援に協力しています。

ほかに、「少年少女オーシャンクルーズ」・「成人式」への協力、「Senior Season News」(会員による活動新聞)の制作などもしています。



ジュニア・リーダーズ・クラブの
兄貴・姉貴分

シニア・ リーダーズ・ クラブ



若者たちよ、今

青少年ボランティアに参加しよう

★ナイトウォーク2006 参加者・スタッフ募集

日時 9月2日(土)19時～3日(日) 6時

コース 小田原アリーナ(集合)→下曾我→桜の馬場→国府津海岸→酒匂川河口(解散)【約20km】

対象 市内在住・在学の中学生以上から30歳くらいまでの100人・先着順

費用 300円(保険料)

申込 7月31日(月)までに、参加者・スタッフともに電話で。

★会員募集

両クラブとも、所定の入会申込書に必要事項を記入して、青少年課に提出してください。

ジュニアクラブへの入会には保護者の承諾が必要です。年会費は1,000円。集まれ!若者たち。

一生の思い出と
一生の友達を作ろう!

ナイトウォーク2006



働くお父さん、お母さんをサポートします!!



子育てと仕事の両立に悩んでいるかたに、うれしいお知らせです。
おだわらルネッサンス推進本部事業として、7月から病後児保育を始めます。
☎子育て支援課 ☎33-1452



子どもの病気が回復してきたけれど、まだ保育所には通園できない。でも、仕事は休めない。育児と仕事の両立は難しいと感じる瞬間です。こうした子育ての悩みにこたえ、仕事との両立を支援するために病後児保育を始めます。

病後児保育施設は、通常保育とは別の専用スペースを設け、専任看護師を配置しています。さらに医療機関と連携していることで、安心してお子さんを預けることができます。



宗教法人 城前寺保育園 病後児保育室

曾我光海20-1(2階) ☎・FAX 42-6354

開所時間

7:30~17:30

(土・日・祝日、年末年始、城前寺保育園休園日を除く)

- 利用期間 連続7日間まで
 - 定員 4人
 - 利用料金 1人1日 2,000円
(給食希望の場合は、200円別途)
 - 利用条件 次の①~④のすべてに該当するかたが利用できます。
 - ①就学前児童で、市内在住または市内保育所を利用していること
 - ②家庭で保育ができない理由があること
 - ③病氣回復期であるが、集団保育が困難であること(病氣回復期であるかどうかは、医師の診断が必要です。医師発行の診療情報提供書を添えて申し込みをしてください)
 - ④事前に登録をしていること
- ※利用する前に必ず空き状況を確認してください。

<病後児保育とは>

保育所に通園している児童などを対象に、病氣の回復期だが集団保育が困難な期間、一時的にその児童を預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援する事業

クローズアップ Close Up 注目の情報をお届け!



南分署が完成

☎消防総務課 ☎49-4417

中央分署と西分署を統合し川西地区の消防防災拠点として南町に建設を進めている南分署が完成します。この名前は地名に加え、小田原城の真南にあることから選ばれました。

また、観光客の回遊ルートに位置しているので、周辺に緑地帯を設け、城下町にふさわしいデザインを取り入れたほか、地域の皆さんにも利用していただくこと、「研修室」や「みんなのトイレ」も設置しています。

さらに、小田原駅前の中心市街地や相模湾に近いという地理的条件から、県や近隣市町との協力が体制が重要な水難救助の充実も視野に入れています。

なお、開署は8月上旬の予定です。